

児童発達支援事業所



2024. 9 月号

Eメール koroiba_mori@basil.ocn.ne.jp
ホームページ <https://minnanomori.jp/>

保護者懇談会のご参加、ありがとうございました

昨年度卒園したOBの保護者をお呼びし、就学について保護者懇談会を行いました。

就学までの流れや、通常級・支援級・特別支援学校を選ぶときの決め手となったことなどをお話してくださいました。学級を選ぶときは、夏の就学相談の前にご家族で何を最優先にさせるか話したそうです。支援級で「ゆったり自分のペースで落ち着いて過ごしてほしい」、通常級で「友だちと一緒に過ごしてほしい」など、ご家族それぞれ思いが異なると思いますが、それが希望学級の決め手になるとのことでした。

また、子どもが生き生きと過ごせるような学級選択をすると良いというお話もありました。

集団生活が上手くいかずに挫折感を味わってしまうより、お子さん一人ひとりに合った学級を選択したことで小学校生活を楽しく過ごすことができると仰っていました。就学相談の結果を受けて年長の秋頃には、どの学級に進学するのか決定していきます。お子さんにとってどの学級が合うのか悩む保護者の方が多いと思います。最終的に決めるのはご家族ではありますが、私たち職員もお子さんの様子を共有していく中で、一緒に考えていきたいと思っています。送迎時や個別相談にて悩みや思いをぜひお話してくださいね。昨年度卒園したOBの保護者をお呼びし、就学について保護者懇談会を行いました。



実体験と絵本の世界との結びつき

クッキングでホットケーキを作りました。ホットケーキを作る前に『しろくまちゃんのホットケーキ』を読むと、焼いている最中に「できたかな まだまだ」と絵本のフレーズを口ずさむ子がいました。また、泡だて器を見せると『きよだいなきよだいな』にそれ出てくる！』と言っていました。

経験したことと絵本のお話が重なったとき、より言葉の世界が広がったり、頭の中のイメージと実体験が結びついたりしていきます。今後も子どもたちの興味や季節に合った絵本を読み聞かせしていきながら、遊びや活動の中で言葉やイメージの世界を楽しんでいきたいと思っています。



🌟たいよう🌟

< リズムってどんな遊び? >

連絡ノートの「今日はリズムをしました」という記事を見て、何の遊びだろうと思ったことはありませんか?リズム(リズム運動)とは、ピアノの音に合わせて身体を動かす運動です。“とんぼ”や“こま”など自然界や身の回りにあるものの動きを真似て動きます。身体の成長に必要な動きを、楽しんでできるように工夫され生まれたものです。

そのリズム運動の中で大切にしている物の一つに“金魚”があります。仰向けに寝転び力を抜いて体をユラユラと揺らすことで、体の緊張がゆるみます。緊張が強いまま運動をすると、怪我の原因になったり、元々の癖や左右差を強めてしまうことにつながります。足の長さの左右差はないか、寝転んだときに腰と床に隙間はないかなど観察ポイントを確認しながら行っています。

ある日「今日はやりたくない」と座って見ている子がいました。気分が乗らないのかな、と無理強いせず「どれならできる?」と聞いてみました。考える表情の後に「こまとあひる」と答え、それが始まると参加する姿がありました。また運動が得意な年少のA君、リズムも大好きで元気いっぱい参加しています。「今からスキップをするけど、年長さんだけやってみましょう」という講師の先生の言葉を聞き、思わず体が動いてしまいました。「A君、やってみる?」と声をかけられ一人スキップで会場をまわり、拍手をもらって得意顔のA君!自信につながり私たちもうれしく思いました。バランス感覚やリズム感、筋力を育てるだけでなく、今日はリズムに参加するか、しないか。自分の番になったら、広い部屋の中のどこに出てでやるのか。それは自分の人生を自分で決めていくことにつながっていきます。身体だけでなく、心も育てるリズムです。



☆ほし☆

< 製作～ヨーヨー作り >

毎月の製作では、子ども達にどんなことを経験させたいかを考えながら題材を選んでいます。今回は、ハサミの経験と立体の物を作ってみようということで季節感を取り入れながらヨーヨー作りをすることにしました。ハサミで連続切りをしながら線の上を意識して切るなど、意識してほしいことがたくさんありましたが、どの子も手元に注目し、真剣な表情で取り組む様子に年長らしさを感じました。

工程説明では、一度に複数の工程を説明してから始める時と、複雑な工程の時は、一つひとつを丁寧に伝えて行う場合もあります。複数の工程を理解することが苦手な子でも、見本があれば、言葉の指示と見本の視覚情報で理解して出来る子もいるので、子ども達のその時の発達状況に合わせて提供し、自分で出来た経験が、作ったものへの愛着や、出来た満足感に繋がっていくのではないかと考えています。

< トランプ遊び >

今月はクラスを半分に分け、少人数でトランプ遊びの経験を積んできました。ばば抜きや七ならべ、193(いっきゅうさん)などを行い、最初はルールがわからず職員と一緒にやってきた子も、繰り返しの経験の中でわかるようになり、楽しさが感じられるようになってきています。少人数で始めたトランプ遊びをクラス全員でやってみると、思うようにカードが出せなかったり、負けて悔しい気持ちをあらわにする子もいますが、自分で考えながら取り組む様子もみられ、みんなで楽しめる机上遊びがまた1つ増えました。